

# 業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2017. 5. 29

No.557

## 29年夏季手当 収入動向

本部は、5/29 午前、収入動向の交渉を行いました。以下、ご報告します。

まず、営業部より営業成績速報（29年4月）を説明。

### 『収入動向』

コンテナは、新車販売の好調に伴い自動車部品輸送が好調に推移したほか、化学工業品・化学薬品が堅調に推移した。一方、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込みなどにより減送となり、コンテナ全体で対計画+106 百万円となった。車扱については、気温が低く推移し、灯油を中心に石油が好調となった一方で、セメント・石灰石が定期修繕などの影響により減送となり、車扱全体で対計画△2 百万円となった。コンテナ・車扱合計は、対計画+104 百万円となった。【対計画+104 百万円(101.0%)】

### 『コンテナ』

コンテナは、新車販売の好調（4月の自動車販売台数 195,874 台 対前年 106.1%）に伴い、自動車部品輸送が、東海地区発東北・九州地区向けで大幅増送となったことに加え、九州・関東地区間での輸送が好調に推移し対計画+85 百万円となったほか、化学工業品（+20 百万円）・化学薬品（+19 百万円）が堅調に推移した。また、トラックドライバー不足を背景に鉄道へのシフトが続いている食料工業品では、大阪地区から北陸地区へのビール輸送が順調に推移したほか、菓子類が増送となり+12 百万円となった。一方、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込みにより低調に推移し△71 百万円となった。その結果、コンテナ全体では対計画+106 百万円（101.1%）となった。

### 『車扱』

車扱は、気温が低く推移し、灯油を中心に石油が好調となった一方で、セメント・石灰石が定期修繕などの影響により減送となり車扱全体では対計画△2 百万円（99.8%）となった。

【対前年+242 百万円(102.3%)】

### ・コンテナ

コンテナは、自動車部品輸送が、大手自動車メーカーの販売好調に伴い、東海地区発東北・九州地区向けで大幅増送となったことに加え、九州・関東地区間での輸送が好調に推移し、対前年+92 百万円となったほか、化学工業品（+31 百万円）・化学薬品（+25 百万円）が堅調な発送となった。一方、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込み、一部工場の定期修繕により△61 百万円となった。その結果、コンテナ全体で、対前年+230 百万円（102.4%）となった。

### ・車扱

車扱は、石油が気温低下に伴い灯油を中心に好調に推移した一方で、セメント・石灰石が定期修繕などの影響で前年を下回り、車扱全体では対前年+11 百万円（101.3%）となった。

### 『輸送量動向』

今月は、中旬の低気圧接近に伴う東北地区風規制などの影響により、月全体で高速貨 40 本が運休となった（前年は、高速貨 93 本が運休）。コンテナについては、自動車部品輸送が、大手自動車メーカーの販売好調に伴い、東海地区発東北・九州地区向けで大幅増送となったことに加え、九州・関東地区間での輸送が好調に推移し前年を大きく上回ったほか、化学薬品・化学工業品が堅調な発送となった。また、トラックドライバー不足を背景に鉄道へのシフトが続いている食料工業品では、大阪地区から北陸地区へのビール輸送が順調に推移したほか、菓子類が増送となり前年を上回った。一方、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込み、一部工場の定期修繕などにより前年を下回った。その結果、コンテナ全体で、前年比 102.3%となった。車扱については、気温が低く推移し、灯油を中心に石油が好調となった一方で、セメント・石灰石が定期修繕などの影響により減送となり、車扱全体では前年比 98.9%となった。コンテナ・車扱合計は、前年比 101.4%となった。

---

組合・自動車関連が好調となっているが、必ず反動がくる。飲料関係は気温の影響を受けやすく、農作物も天候や災害の影響をもろに受ける。紙・パルプの輸送量が落ちているが、ペーパーレスの時代であり、致し方ない面もある。4月、好調な滑り出しだったが、今後、何が起きるか分からない。緩むことなく、気を引き締めてやってもらいたい。

会社・確かにその通りであり、気を引き締めてやっていく。品目別では、食料工業品が紙・パルプの輸送量を越えた。

組合・5月、名古屋（夕）～福岡（夕）で、大手通運会社の列車が新設されたが、他の大手通運会社との話はあるのか。

会社・話はある。現在、内容・中身について勉強中である。

組合・先日、トラック関係者と話す機会があり、今のトラックドライバーは、土日祝日を休みたいという人が多く、集配する人も確保できないと聞いた。

会社・トラック業界は、危険、きつい、汚いと、いわゆる3K職場イメージが強く、待遇面も昔より悪くなっており、深刻な問題だと思う。

組合・ドライバーを確保できず、引っ越し荷物も、3月のピーク時に依頼を断ったという話も聞いたが。

会社・引っ越しの依頼が多過ぎて、日通様の方で対応が間に合わず、お客様に4月にずらしてくれとお願いしていた。そのことにより、引っ越し荷物関連は、3月は低調だったが、4月は好調となり、トータルではプラスになった。

組合・量販店・百貨店で買わず、ネットで買い物するという、ライフスタイルの変化で、今の物流形態では限界が来はじめている。一つの業種で改善していくのは限界があり、トラック・鉄道・船舶・飛行機、すべてを含んで、物流を考えていかなければならない。また、トラック業界では、荷物を保管しておくスペースが無いと言われていた。貨物会社で計画しているレールゲートは、まさに業界が求めているものになる。私たちは安全安定輸送に努める。営業部も将来を見据え頑張ってもらいたい。期待している。

会社・了解した。

## 総務部

組合・今回は、かなり期待が大きい。28年度の決算を見れば、言うまでもない。今まで相当の我慢を強いられてきた。次回、会社の考えだか、誰もが納得する数字を求める。

会社・まず、事業開発部門補足として、対前年実績より+7億、318億を目指している。29年度事業計画で説明したが、努力目標として20億の経費削減が課せられており、まだ具体的な中身が決まっていないのが不安材料としてある。しかしながら、数字は出ているので、真摯な議論をすすめていきたい。

組合・次回、「会社の考え」は、6/8でよいか。

会社・よい。

以上

---